

東京都「笑顔と学びの体験活動」より

「サンドアートパフォーマンス」の鑑賞と体験

令和5年12月12日

東京都立武蔵台学園府中分教室

12月12日（火）、東京都教育委員会の「笑顔と学びの体験活動」事業による「芸術・文化に対する理解を深める体験」のプログラム「ガラスのキャンパスに砂で描く物語サンドアートパフォーマンス」の公演の鑑賞と体験活動を実施しました。

砂で絵を描き、その絵を消してはまた絵を描くことを繰り返し、ストーリーを創るサンドアート。サンドアーティストのKoh-eiさんをお迎えして、会場の大アリーナの壁いっぱいに大きく投影されたサンドアートのパフォーマンスを鑑賞しました。愛をテーマにした「指輪」、動物が変化する「アニマル」、どちらの演目も、児童・生徒は、音楽に合わせて次々変わる絵に引き込まれました。「アニマル」のパフォーマンスの後、Koh-eiさんから、「授業や学校生活などいろいろなことが充実するように願いを込めて、演目の最後に昇り龍を表現しました。」との説明がありました。公演の後は、実際に砂を触って絵を描くサンドアートの体験をしました。サラサラする砂の感触を味わい、カラフルな砂の上を指先や爪などでなぞり、変化するサンドアートを時間いっぱい楽しみました。



パフォーマンスより



子供たちの感想より

「こうへいさんの絵が、目が丸くなるほどすてきでした。」、「自分ですなをさわってみて、楽しかった。」、「蛇や竜はウロコがサンドで相性よく表現されていると感じました。もっともつと砂にふれていたかったです。」、「最初に披露していただいた「指輪」がロマンチックで1番好きです。」、「あんなにさらさらの砂でアートを作るといのは、とても大変なんだと思いました。またできたらやってみたいです。」、「手だけで細い線や太い線やもようがかけてすごいと思いました。」、「パフォーマンスすごくよかったです。体験してみて砂のさわり心地がサラサラしててよかったです。」「楽しかったです。」

素敵なパフォーマンスに、感激し、直接教えてもらっての体験に、大満足！

みんなとても笑顔になれました！



児童・生徒の
サンドアート体験